

産業建設委員会

視察日 7月23日～25日

北海道札幌市 ICT技術を活用した路面状況の把握について、下水道事業における地球温暖化対策について
北海道美幌市 AIスマート農業加速化プロジェクトについて、雪蔵工房（米穀雪零温貯蔵施設）について

ICT技術を活用した路面状況の把握 （冬場の路面状況）

札幌市は防災科学技術研究所が研究開発しているAI路面判定システムのデータを活用して冬期道路管理への適応に関する研究を行っている。

車載式AI路面判定システムを道路パトロール車等に設置し、路面状況を線的に把握している。現場に行かずともシステム上で状況把握が可能であるので職員の業務負担軽減につながる先進的な取組であった。

また、札幌市の除排雪の方法、住民からのクレーム対応の状況、インターネットでの情報公開などについても情報交換ができた。

下水道事業における地球温暖化対策

札幌市は、水処理及び汚泥処理に多くのエネルギーを使用しており、下水道事業による温室効果ガス排出量は事業活動の中でも大きな割合を占めていることから、下水道事業における温暖化対策に積極的に取り組んでいる。

令和3年度に策定された市役所全体の温暖化対策計画、札幌市気候変動対策行動計画に基づきながら、札幌市下水道事業中期経営プラン2025等の経営計画の中で、温暖化対策施策を実施している。

具体的には省エネ設備・機器の導入、

バイオガス発電等の下水道エネルギーの活用などが実施されている。また、積雪寒冷地ならではの取組として、処理水を利用して融雪槽や下水熱を活用したLEDヒーターなどを導入し、雪処理等に係る化石燃料の使用量を削減することで、温室効果ガスの削減に寄与している。



美幌市では、各JAの先進農機研究会の農業者を中心に、美幌市、JA、空知農業改良普及センター等の関係機関で構成されている、美幌市ICT農業推進協議会が令和元年に設立された2年度には農業基盤整備事業の推進による圃場の大区画化の効果をより高めるため、ICTを活用した水稲における農作業の省力化や効率化をテーマとして検証を実施している。

AIスマート農業加速化プロジェクト

具体的にはドローンと無人ヘリを組み合わせた作業時間の短縮、水管理システムの省力化効果の検証、スマート農業に対する理解の促進（講習会など）を実施している。

雪蔵工房（米穀雪零温貯蔵施設）

JAびばいでは、雪冷熱エネルギーを活用し、玄米を低温で貯蔵する、雪蔵工房という施設を運営している。降雪量の多さを生かした地球温暖化対策にもなる取組であった。

（鍋谷 暁）

議長の主な動き

7月～9月

- ・銀河連邦フォーラム2025
- ・能代山本北都会
- ・日本海六県港湾都市議会協議会
- ・役員会・総会・懇親会
- ・広域議会臨時会、全員協議会
- ・秋田県市議会議長会 定例会・懇談会（意見交換会）
- ・国道101号（秋田・男鹿・能代間）整備促進期成同盟会総会
- ・秋田県北部市議会連絡協議会 正副議長・事務局長会議
- ・秋田県市議会議長会 実行運動
- ・意見交換会（懇親会）
- ・東北日本海沿岸市町村議会協議会
- ・中央要望
- ・日本海沿岸東北自動車道建設促進秋田県北部期成同盟会 夏期合同要望
- ・東北地方整備局要望
- ・向能代公民館オープニングセレモニー
- ・能代七夕 天空の不夜城
- ・日本海沿岸東北自動車道建設促進秋田県北部期成同盟会 夏期合同要望
- ・中央要望
- ・能代役七ヶ 出迎え
- ・秋田県後期高齢者医療広域連合議会臨時会
- ・能代市成人式
- ・能代宇宙イベント 開会式
- ・能代市戦没者追悼式・平和祈念式典
- ・第20回全国市議会議長会研究フォーラムin札幌
- ・いきいきふれ愛のつどい
- ・能代厚生医療センター病院運営委員会
- ・第79回国民スポーツ大会「滋賀国スポー」出場選手壮行会

（代理含む）

議長の交際費を公開します

《7月～9月分》

- ・能代山本北都会 懇親会 5000円
 - ・令和7年度二ツ井地区無火災表彰式・懇親会 4000円
 - ・日吉神社例祭、神幸祭宵祭直会 5000円
 - ・向能代公民館開所祝賀会 4000円
 - ・令和7年度あわびの里くり祭り 3000円
 - ・第21回能代宇宙イベント 懇親会 5000円
 - ・能信会講演会 懇親会 7000円
- （代理含む）

※詳しくは本庁舎1階の行政情報コーナーで閲覧できます。
※議長交際費は能代市長の交際費に関する規定に準じて支出しております。